



CITIZEN'S PLAZA

市民のひろば

市民の皆さんからの投稿作品をご紹介します！

みんな注目！

田原市ふるさと大使 小川泰弘選手 子どもたちに野球指導!!

大使発!

平成30年12月15日(土)渥美運動公園野球場で、田原市ふるさと大使(渥美半島夢大使)の東京ヤクルトスワローズ・小川泰弘選手、同球団の中村悠平選手、石山泰稚選手、トレードが発表された谷内亮太選手を講師に招いて少年野球教室を開催しました。田原市スポーツ少年団の子どもたち約100名が参加し、投手組、捕手組、野手組に分かれて指導を受けました。



▲投手のフォームを指導する小川選手

小川選手は、子どもたちの質問に答えながら、姿勢や力の入れ方など、一人一人に対して細やかな指導で、子どもたちは緊張しながらも、それに応えるように一つ一つの動作を自分自身で確認しながら取り組んでいました。「ピッチャーはキャッチャーとの共同作業。キャッチャーの構えたところへ投げる責任がある」「キャッチャーはなるべく球を止めてあげて。それが信頼になる」「10球中7球キャッチャーの構えたところへ投げられたらいいピッチャー」と具体的に指導しながら、「自信を持ってやっていきましょう」とエールを送りました。



▲バッティングを披露する小川選手

プロ野球選手のバッティングも披露され、普段見ることができない迫力あるプレーに子どもたちはその日一番興奮した様子でした。



▲ディスクドッチでチームの仲間と喜び小川選手と谷内選手

小川選手から「子どもたちともしっかり交流ができるようなものを」との要望を受けて、小川選手らプロ野球選手を交えてディスクドッチを行いました。開始から3分経過するとディスクが追加され2枚となる、本市特別ルールに全員が真剣そのもの!!小川選手たちは、慣れないディスクの扱いに若干戸惑いながらも子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしました。憧れの選手とより身近で交流でき、子どもたちにとってもよい経験となったのではないのでしょうか。

最後に、小川選手が代表し「僕たちプロ野球選手は、幼少期からの練習の積み重ねで成長してきました。みんなも、夢を大きく持って毎日の練習を頑張ってください。僕たちも皆さんの夢であり続けられるよう頑張ります」と力強く語りました。

子どもたちが、小川選手のメッセージを受け止め、それぞれが夢や目標を持って成長してほしいですね。